

大月の宝資源

周
交
を

ガ
ネ
ウ

ふ
れ
は

ア
ー
ト

広
場

ワークショップ

参加者にはふればソフトクリームを進呈!

- クイズ『彫刻の名前を当てよう』
正解者には
マララのミニ鉛筆をプレゼント!
- マララの巨大鉛筆を立てよう!

9/8(日)

10~12時

ふれあいパーク・大月 テント側広場に集合!!





大月の宝資源



を

、

ガ

ソ

ウ



マララの鉛筆について

「マララ」という名前は、ノーベル賞を受賞したマララ・ユスフザイさんからとりました。マララさんがノーベル賞を受賞した理由は、学校に行けない子どもたち、特に途上国の女子教育の普及活動を、イスラム過激派に銃で撃たれて重傷を負いながらも続けたからです。

「マララの鉛筆」は、マララさんの不屈の志に敬意を払い、教育の大切さと差別のない世界の実現を目指すシンボルとして野口ちとせが制作しました。



野口ちとせ



マララプロジェクト



くろしお芸術協会

【日時】 2024 9/8 (日) AM 10~12 時

【会場】 道の駅 ふれあいパーク・大月
高知県幡多郡大月町弘見 2610

【集合場所】 テント側広場

【ナビゲーター】 野口ちとせ、嵯峨美術大学有志 他
参加無料 (小雨決行)

かつて大月町では特産の花崗岩を活用し、国際的な彫刻シンポジウムが2回も開かれました(1985年と1992年)。その時つくられた石の彫刻は合わせて17作品と記録にありますが、いま確認できるのは10作品だけで、それも草木に埋もれています。ふれあいパークの片隅で埋もれているこの彫刻群は巨費を投じてつくられた大月町の大切な資源であり宝です。この宝資源を再活用するために、町民の皆さんとともに彫刻一つずつにネームプレートをつけるクイズ形式のワークショップを開きます。また彫刻とつなげる形でマララの鉛筆を立てふれあいパークを町内外の人が集える憩いの場とします。

【お問合せ】

大月町まちづくり推進課企画政策係 0880-73-1181
くろしお芸術協会 080-6392-3873

主催 くろしお芸術協会

協賛 大月町

協力 (一財)大月町ふるさと振興公社、COSA

後援 大月町教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送
KSS さんさんテレビ